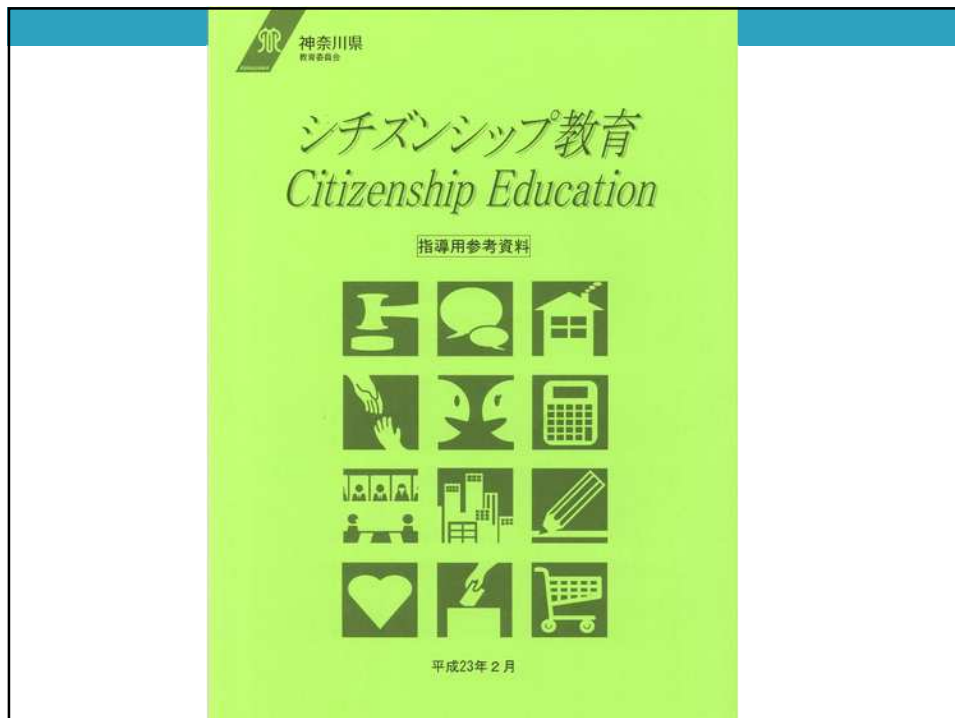
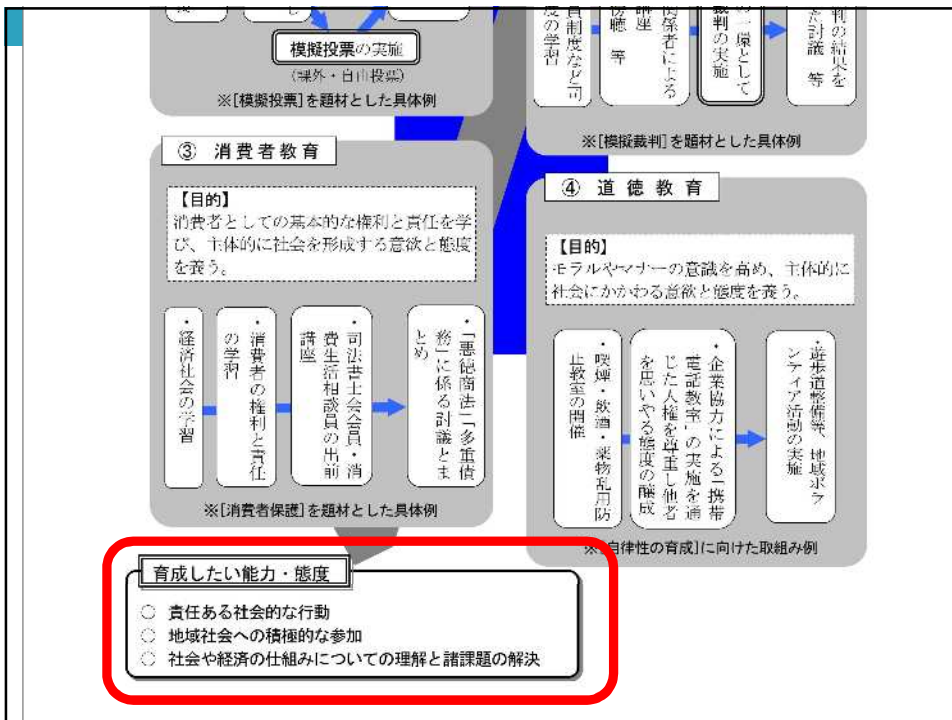
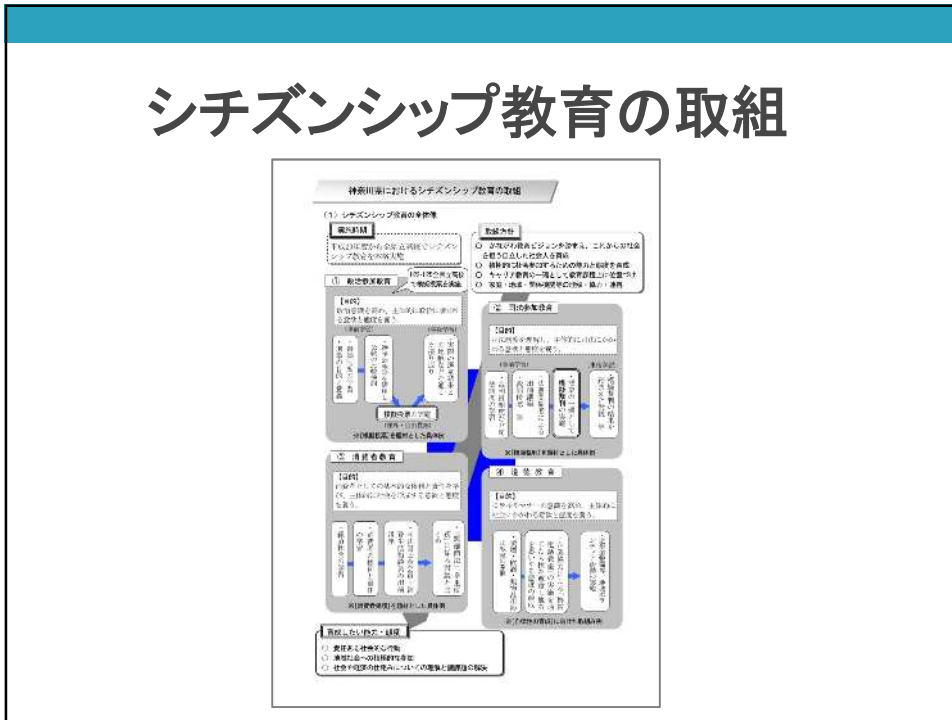


神奈川県立高等学校等における シチズンシップ教育の取組について

神奈川県教育委員会
高校教育課

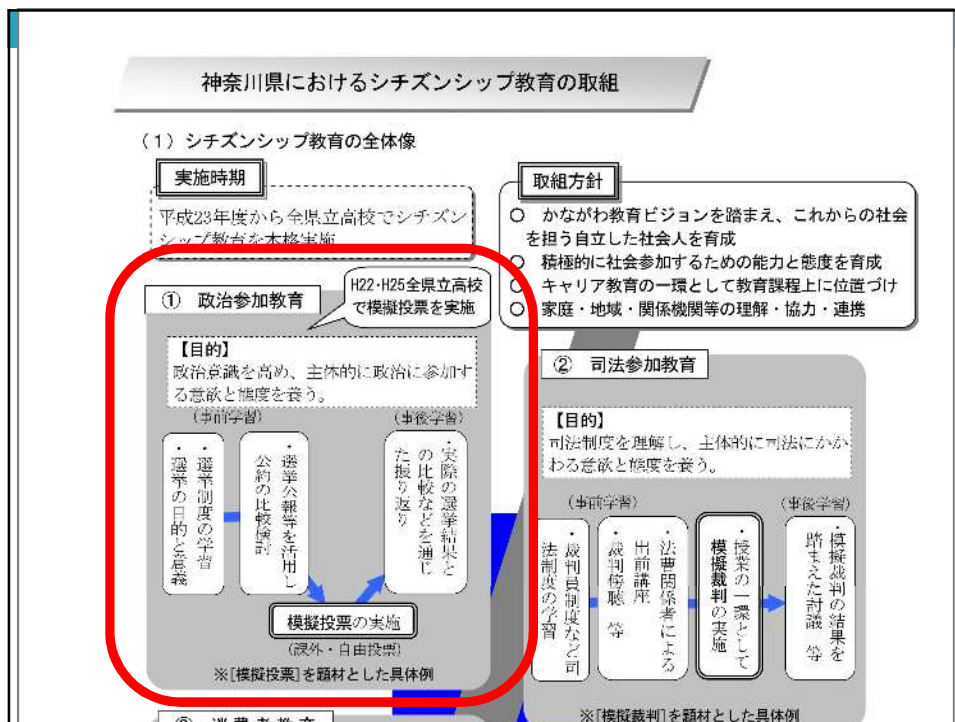


シチズンシップ教育の取組



神奈川県におけるシチズンシップ教育の取組

- ① 政治参加教育
- ② 司法参加教育
- ③ 消費者教育
- ④ 道徳教育



神奈川県立高等学校等 における模擬投票の実施

平成22年 参議院議員通常選挙
平成25年 参議院議員通常選挙
平成28年 参議院議員通常選挙
(18歳選挙権最初の国政選挙)
令和元年 参議院議員通常選挙
(全県立学校で実施予定)

児童・生徒の発達段階等に合わせた主権者教育

小・中学校における政治的教養を育む教育



中学校3年生 社会科[公民的分野] 指導事例

テーマ

「人口減少を食い止めるには？」

自分の身の周
りのできごとに
関心を持つ

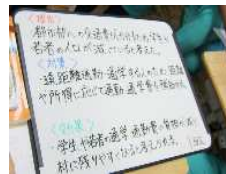
「清川村の人口問題について」

○人口減少を食い止める対策
を考える

○班での発表や、学級での
意見交換を通じて、自分
の考えを再構築する



地域の課題
に気付く



他者の考え
を聞き、自分
の考えを再
構築する

児童・生徒の発達段階等に合わせた主権者教育

特別支援学校高等部における模擬投票等実践事例集



架空の選挙公報 (知的障害教育部門1年生の授業)

私は安全な県をつくれます！

1. 給食は、手作りのお弁当にします！

家によって味付けも違います。それぞれの家の味付けが一番です。
いつも食事を作ってくれている保護者のみなさんに感謝の気持ちを持てるようになります。
さらに、感謝の気持ちを伝えられるよい大人に成長できます。

2. 15歳以下の子どもの携帯電話は禁止にします！

家族や友達とは、顔を会って直接お話しすることが大切だと思います。
ゲームやメールに夢中になってしまい、教室や家でのお手紙が丁寧に出来なくなります。
子どものうちは携帯電話を持たないで宿題やお手紙を一生懸命にがんばりましょう。



ひなたやま
たろう
無所属・元会社員・
28歳

新科目「公共」につなげる取組

- 神奈川県指定校として
教育課程研究開発校「新科目『公共』に係る研究」
を指定(6校)

【目的】

- 学習指導要領の改訂に係る、新科目や学習評価等の教育課題に、県として柔軟かつ的確に対応できるよう、教育課程の研究開発に取り組む。
- 高等学校学習指導要領解説公民編の「公共」に示された内容及び内容の取扱いに基づき、指導計画や学習評価について研究する。

教育課程研究開発校
「新科目『公共』に係る研究」の取組事例

神奈川県立瀬谷西高等学校における取組

神奈川県立瀬谷西高等学校における取組

研究テーマ

キャリア・シチズンシップ教育の理念をいかした
新科目「公共」の研究開発

～「18歳の段階で何ができるようになるか」
という観点からのカリキュラム・マネジメント～

神奈川県立瀬谷西高等学校における取組

具体的な取組方針

- ① 「18歳の段階で何ができるようになるか」という観点からのカリキュラムの構想
- ② 教科横断的なカリキュラム・マネジメントの軸となる「総合的な学習の時間」「特別活動」の検討
- ③ 各教科等における「なぜ学ぶのか？」を明確にした組織的な授業改善の実施
- ④ 公民科における単元指導計画の作成

神奈川県立瀬谷西高等学校における取組

「キャリア・シチズンシップ教育」

- ・ 子供たちに必要な資質・能力を育てていくためには、各教科等での学びが、一人一人のキャリア形成やよりよい社会づくりにどのようにつながっているのかを見据えながら、各教科等をなぜ学ぶのか、それを通じてどういった力が身に付くのかという、教科等を学ぶ本質的な意義を明確にすることが必要になる。

中央教育審議会「学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」(平成28年)
⇒「なぜ学ぶのか？」を明確にした授業づくりとは??

神奈川県立瀬谷西高等学校における取組

真正の学び authentic learning

現実世界に存在する本物の社会的実践に可能な限り
文脈や状況を近付けて学びをデザインすること

『「真正」という用語は一般的に、人工的な/フェイクの/誤誘導する
ような事柄、とは真逆の、リアルな/正真正銘の/本当の何か、とい
うことを指し示している』

(フレッド・M・ニューマン『真正の学び/学力』2017年)

神奈川県立瀬谷西高等学校における取組

「真正の学び」の例としての「模擬投票」

例えば、
実際の選挙に合わせ、
実際の選挙公報を分析し、実際の政党・
候補者に投票する「**模擬投票**」の実施など

神奈川県立瀬谷西高等学校における取組

平成29年度 模擬投票 単元計画(1年「現代社会」)

	次	学習内容	学習活動	目的
事前指導	1	現実社会の課題の把握	政策争点を設定する活動を通して、現実社会の課題を把握する。	政治に関する関心を高め、現実社会の課題を把握し、政策を比較し、選択する力を養う。
	2	模擬政党づくり	1で把握した課題について、諸資料を活用し、表現する。	架空の政党と政策を立案することにより、政策を表現できるようにする。
事後指導	3	振り返り	現実の選挙及び模擬投票の結果をもとに考察する。	現実の選挙及び模擬投票の結果をもとに、高校生と現実の選択の違いを考える。

神奈川県教育委員会における今後の取組

- ・シチズンシップ教育指導用参考資料改訂
- ・高校の教員と税務署が連携した単元指導計画及び教材開発
- ・「公共」の実施に向け、指定校の取組成果・課題等の周知、効果的な取組事例の周知

など